

社会福祉団体職員退職手当積立基金だより

令和6年度第4号(令和7年3月31日発行)

発行:社会福祉法人長野県社会福祉協議会(〒380-0936 長野市中御所岡田 98-1)

電話:026-226-4126 <https://www.nsyakyo.or.jp/fukushi/fund/>

E-Mail: fukuri@nsyakyo.or.jp



1 事務局から各加入団体の担当者様へ

(1) 定年延長への対応について

令和6年6月24日付け長社協第323号で通知したとおり、本制度加入団体が定年延長を行った場合、給付額計算方式として従前方式の他、「制度退会方式」「ピーク時特例方式」のいずれかを選択できるようになりました。

加入職員に「制度退会方式」「ピーク時特例方式」のいずれかを適用する場合、加入職員が定年延長する時に、「加入者変更通知書(様式第7号)」に朱書きで必要事項を記入の上、以下のとおり「就業規則」「給与規程」「退職手当規程」等を添付して、本会へ提出してください。

(添付する規程等は、1ページ目及び該当部分の複写のみで構いません。)

【各方式ごとの提出書類と提出時期】

	制度退会方式	ピーク時特例方式
加入者変更通知書(様式第7号)への朱書き内容	・変更年月日欄には旧定年日を記入 ・備考欄には「制度退会方式を選択」と記入	・変更年月日欄には定年延長に伴い基準給減額となった日付を記入 ・備考欄には「ピーク時特例方式を選択」と記入 ・新基準給欄には、減額後の基準給額を記入
添付書類	ア. 定年延長について定めている就業規則 イ. 給付請求書(様式第8号) ウ. 退職・制度退会証明書(様式第9号) エ. 定年延長について定めている就業規則の写し オ. 制度退会方式を選択していることが明記されている退職手当規程等の写し	ア. 定年延長について定めている就業規則の写し イ. 定年延長に伴う給与額の減が明記されている給与規程の写し ウ. ピーク時特例方式を選択していることが明記されている退職手当規程
提出時期	該当職員が定年延長する時(旧定年日を迎えてから5日以内)	

①記入例(加入者変更通知書(様式第7号))は、冊子「長野県社会福祉団体職員退職手当積立基金規程・施行細則(令和6年4月1日適用)」、45ページ以下に記載しています。

②ピーク時特例方式を選択した場合、制度退会方式を選択した場合について、それぞれの給付額計算例を長野県社協ホームページに掲載していますので、参考にしてください。

⇒<https://www.nsyakyo.or.jp/fukushi/fund/>

(2) 給付請求書(様式第8号)を使用すると、給付額計算が簡単にできます

昨年4月から本制度では給付率の引下げ、定年延長した場合の給付額計算方式が選択できることとなった(「ピーク時特例方式」又は「制度退会方式」)こと等により、給付額計算方法が複雑化していますが、本会ホームページ上に掲載している給付請求書(様式第8号)を使用すると、「従前方式」「制度退会方式」「ピーク時特例方式」いずれの場合でも簡単に給付額を計算できますので、ご活用ください。

(ただし入力後は、金額計算結果を県社協事務局へご確認ください。)

なお、様式は随時不具合を改善し更新していますので、必ず最新版を使用してください。(過去にダウンロードした様式は使用しないでください。)

【入力内容・手順】

- ①エクセルシート右上に表示される「入力手順ナビ」が、入力内容・手順をご案内しますので、指示に従って、青色セル内に必要事項を入力してください。

【入力手順ナビ】様式内の青色セル内に、以下のとおり入力してください。
←最初に請求日付を入力してください

日付は、西暦、元号のいずれでも入力できます。
(西暦入力例) 2025年2月
(元号入力例) 令和7年2月1日
付付請求⇒「2025-2-1」と入力
付付請求⇒「R7-2-1」と入力

右上の「入力手順ナビ」に従い
青色セル内に必要事項を入力

加入中断期間は随時入力可

- ②必要事項を全て入力すると、以下のとおり給付額が自動計算されます。

県社協事務局に金額計算結果を確認した後、白黒印刷し押印して提出してください。

事務局に金額を確認したら、白黒印刷し、押印して提出する。

加入中断期間は間違いやすいので注意

必要事項を入力すると給付額が自動計算される。
(金額は事務局に要確認)

振込先口座名等は最後に入力する。

2 令和6年度第3四半期の資産運用状況と資産増減について

－国内・外国株式の価格上昇等により、資産残高が増加しました－

令和6年度第3四半期は、国内・外国株式の価格上昇により収益率（時間加重収益率）は3.43%となり、掛金収入も合わせて期末資産残高は6,112百万円に増加しました。（第2四半期末比294百万円増加）

令和6年度通期の収支状況、資産運用実績、充足率等は、令和6年度決算の後、皆様にお知らせします。（今年6月中旬の予定）

【令和5年度以降の資産運用状況】

	令和5年度					令和6年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
収益率（%）	6.90	△1.14	1.80	8.03	18.08	2.03	△2.05	3.43
期末時価資産残高 （百万円）	5,270	5,309	5,506	6,000	—	5,861	5,818	6,112

※収益率は「時間加重収益率」を表記しています。

※各四半期の収益率は年率換算していません。

（お詫びと訂正）資産運用状況にかかる収益率の訂正について

今年度から資産運用状況をお知らせするために、本会では「時間加重収益率」「ベンチマーク収益率」について資産全体分を算出し「積立基金だより」にも掲載しています。これまでは簡易な方法で算出していましたが、「時間加重収益率」「ベンチマーク収益率」は運用実績の重要な指標であることから、今後はより厳密な方法で算出します。併せて今年度「積立基金だより」第1号～第3号紙面に掲載した収益率を訂正します。

収益率を訂正した「積立基金だより」を本会ホームページに記載していますので、ご確認ください。（赤字箇所が訂正後の収益率です。）⇒<https://www.nsyakyo.or.jp/fukushi/fund/>